

筑波技術大学 財務レポート

2010(平成22)年度版



国立大学法人

筑波技術大学

目 次

はじめに	1 ページ
国立大学法人の決算について	2 ページ
貸借対照表	4 ページ
損益計算書	5 ページ
キャッシュ・フロー計算書	6 ページ
国立大学法人等業務実施コスト計算書	7 ページ
決算報告書	8 ページ
財務分析	11 ページ

はじめに

筑波技術大学の運営を支えてくださる学内外の皆様、財務情報を提供し、運営状況を知っていただくことは、国立大学法人にとって大きな役割の一つです。

そのため、筑波技術大学の決算について、理解していただくことを目的として、コンパクトにまとめた財務レポートを発行することとなりました。

本財務レポート構成は、平成22年度財務諸表及び財務状況の分析とで構成されており、教育、研究、診療の活動の経年比較や当該事業年度の費目等の構成内訳について分析を行い作成しております。

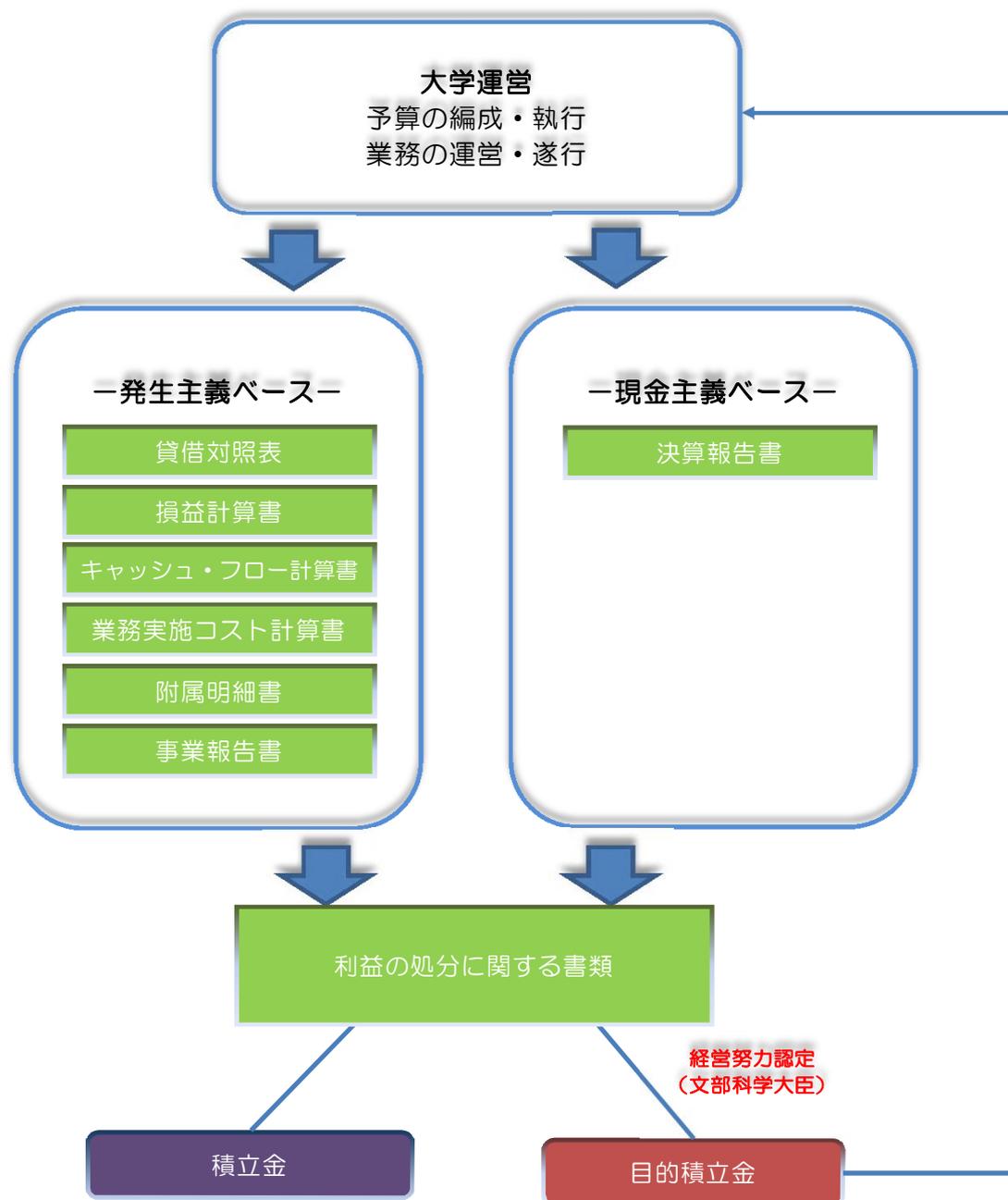
なお、今後の財務レポートのさらなる充実を図るとともに、本学の経営、運営に反映させ、より一層の教育研究の充実・発展ならびに自主的・戦略的な運営の実現を目指して努力していきたいと考えております。

平成23年12月 国立大学法人筑波技術大学長 村上 芳則



国立大学法人の決算

国立大学法人は、企業会計に準拠した国立大学法人会計基準に従って、財務諸表の作成をしております。また、企業会計にはない書類で、大学法人の業務運営に対する国民の皆様の負担を表す国立大学法人等業務実施コスト計算書や、官庁会計に準じた決算報告書を作成しております。



企業会計に準拠した書類

貸借対照表

決算日(年度末)における本学の全ての資産、負債、純資産を記載することにより財務状況を明らかにした書類です。

損益計算書

大学の運営状況を教育、研究等の目的別に獲得した収益とそれに要した費用を対応させ、得られた利益を明らかにしたものです。

キャッシュ・フロー計算書

一会計期間におけるキャッシュ・フロー(資金の流れ)の状況を明らかにするため、業務活動、投資活動、財務活動の3つの活動区分に分けて報告する計算書です。

国立大学法人会計に特徴的な書類

国立大学法人等業務実施コスト計算書

国立大学法人の運営にあたり国民の皆様にご負担いただいている額を示す計算書です。

官庁会計に準じた書類

決算報告書

国における会計基準に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえ、一部発生主義を取り入れて、年度計画の予算と比較することにより、運営状況を報告するものです。なお、収入額が支出額を上回れば、その差額は一定のルールにより繰越が可能となっております。

国立大学法人の利益とは・・・

国立大学法人は営利を目的とせず、運営費交付金等を受けて業務を実施する法人であり、予定どおりに遂行されれば、損益均衡が基本となる会計制度が取られています。しかし、効率的な業務運営による経費の削減、自己収入の増加など経営努力を行った場合には利益が生じます。

目的積立金

決算の結果生じた当期末処分利益のうち、現金の裏付けがあり事業に使用することが可能な額を、申請に基づき文部科学大臣が経営努力認定を行うことにより、翌事業年度に繰越することができるものです。

積立金

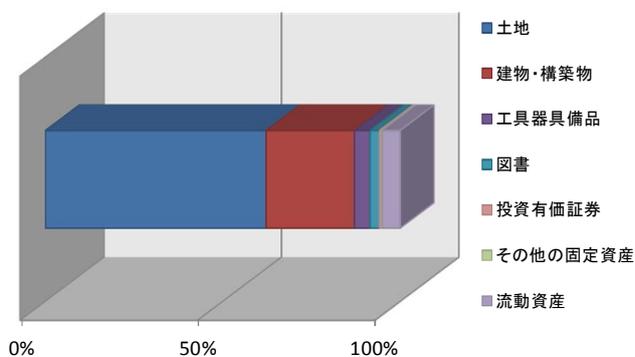
目的積立金以外の当期末処分利益については、積立金として整理されます。

■貸借対照表

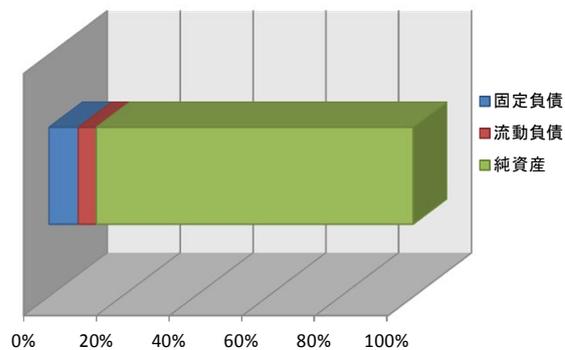
(単位：円)

勘定科目	平成22年度	勘定科目	平成22年度
資産の部	12,812,643,963	負債の部	1,668,213,049
固定資産	12,166,172,477	固定負債	1,038,258,672
土地	7,975,000,000	資産見返負債	964,251,228
建物	2,934,270,506	財経センター債務負担金	9,315,050
構築物	259,006,743	退職給付引当金	32,807,764
工具器具備品	559,291,707	その他の固定負債	31,884,630
図書	337,730,925	流動負債	629,954,377
車両運搬具	2,769,561	運営費交付金債務	113,948,652
ソフトウェア	16,533,178	寄附金債務	32,703,754
投資有価証券	79,935,078	一年以内返済予定債務負担金	1,077,500
その他の固定資産	1,634,779	未払金	429,338,116
流動資産	646,471,486	その他の流動負債	52,886,355
現金及び預金	620,643,616	純資産の部	11,144,430,914
未収入金	15,135,394	政府出資金	11,388,702,019
たな卸資産	860,571	資本剰余金	△ 370,853,666
医薬品及び診療材料	3,131,583	前中期目標期間繰越積立金	34,588,317
その他の流動資産	6,700,322	当期未処分利益	91,994,244

資産



負債・純資産

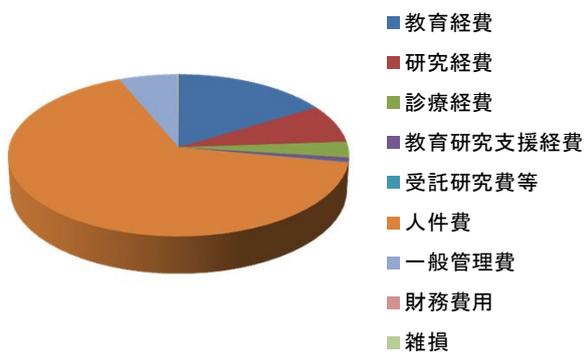


■ 損益計算書

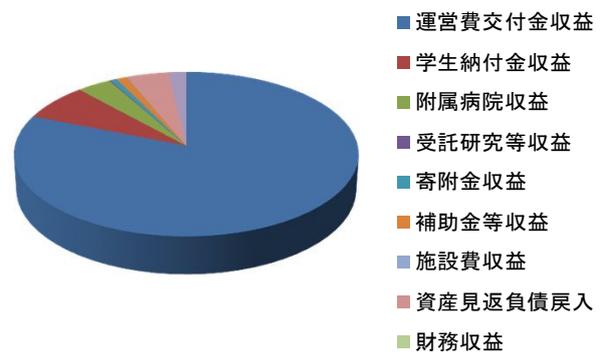
(単位：円)

勘定科目	平成22年度	勘定科目	平成22年度
経常費用	2,978,198,953	経常収益	3,067,836,933
業務費	2,792,193,148	運営費交付金収益	2,488,213,330
教育経費	484,255,511	学生納付金収益	220,505,711
研究経費	227,248,545	附属病院収益	108,988,781
診療経費	93,219,672	受託研究等収益	3,957,815
教育研究支援経費	25,107,454	寄附金収益	20,758,665
受託研究費等	3,748,815	補助金等収益	34,876,614
人件費	1,958,613,151	施設費収益	2,128,484
一般管理費	180,802,171	資産見返負債戻入	132,057,133
財務費用	1,702,245	財務収益	22,772
雑損	3,501,389	雑益	56,327,628
臨時損失	453,832	臨時利益	1
当期総利益	91,994,244	前中期目標期間繰越積立金取崩額	2,810,095

経常費用



経常収益





■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

科 目	平成22年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	262,886,958
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 573,603,026
人件費支出	△ 1,948,162,481
その他の業務支出	△ 184,093,252
運営費交付金収入	2,827,864,000
学生納付金収入	151,564,950
附属診療所収入	109,776,569
受託研究等収入・受託事業等収入	3,412,650
補助金等収入	42,964,700
寄附金収入	2,594,000
その他収入	58,701,003
預り金の増加	20,077,619
国庫納付金の支払額	△ 248,209,774
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 385,155,694
有価証券の取得による支出	△ 79,979,923
有形固定資産の取得による支出	△ 283,137,371
無形固定資産の取得による支出	△ 9,038,400
定期預金の預入による支出	△ 30,000,000
施設費による収入	17,000,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,769,727
長期借入金の返済による支出	△ 1,077,500
リース債務償還額	△ 32,932,665
利息の支払額	△ 1,759,562
IV 資金増減額	△ 158,038,463
V 資金期首残高	748,682,079
VI 資金期末残高	590,643,616



■ 国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位：円)

科 目	平成22年度
I 業務費用	2,566,822,354
(1) 損益計算書上の費用	2,978,652,785
業務費	2,792,193,148
一般管理費	180,802,171
財務費用	1,702,245
雑損	3,501,389
臨時損失	453,832
(2) (控除) 自己収入等	△ 411,830,431
学生納付金収益	△ 220,505,711
附属診療所収益	△ 108,988,781
受託研究等収益・受託事業等収益	△ 3,957,815
寄附金収益	△ 20,758,665
財務収益	△ 22,772
雑益	△ 39,271,128
資産見返運営費交付金等戻入	△ 11,368,824
資産見返寄附金戻入	△ 6,956,734
臨時利益	△ 1
II 損益外減価償却相当額	154,814,464
III 損益外減損損失相当額	3,818,311
IV 損益外除売却差額相当額	640,630
V 引当外賞与増加見積額	△ 1,358,818
VI 引当外退職給付増加見積額	59,579,942
VII 機会費用	153,577,188
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	16,418,080
政府出資の機会費用	137,159,108
VIII 国立大学法人等業務実施コスト	2,937,894,071



■ 決算報告書

● 収入

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
運営費交付金	2,828	2,828	0
施設整備費補助金	0	0	0
補助金等収入	29	42	13
国立大学財務・経営センター施設費交付金	15	17	2
自己収入	308	320	12
授業料、入学料及び検定料収入	163	152	△ 11
附属病院収入	105	110	5
雑収入	40	59	19
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	106	27	△ 79
引当金取崩	0	0	0
承継剰余金	0	0	0
目的積立金取崩	83	15	△ 68
計	3,369	3,250	△ 119

● 支出

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
業務費	3,218	2,921	△ 297
教育研究経費	3,115	2,749	△ 366
診療経費	103	172	69
施設整備費	15	17	2
補助金等	29	41	12
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	106	25	△ 81
長期借入金償還金	1	1	0
計	3,369	3,005	△ 364

● 収支

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
収入-支出	0	245	245
計	0	245	245



財務分析

財務諸表等の財務データにおいて財務分析を行うことにより、大学の財政状態等の把握や改善に資するために活用するとともに、国民の皆様や大学の関係者の皆様に対する説明責任のための資料として活用しております。
なお、本学は以下の五つの指標体系により分析を行っております。

(1) 財務の健全性(安全性)の指標

継続安定的に教育研究を提供するために一定の財務の健全性・安全性が確保されているか。

① 流動比率＝流動資産÷流動負債×100%

(流動負債に対して、一年以内に現金化が可能な流動資産を確保しているか。)

	H18	H19	H20	H21	H22
流動資産	873,116,875	768,172,436	903,398,799	773,179,933	646,471,486
流動負債	765,101,270	546,482,352	587,184,451	549,497,688	629,954,377
流動比率	114.1%	140.6%	153.9%	140.7%	102.6%

② 自己資本比率＝自己資本÷(負債＋自己資本)×100%

(総資産に対する自己資本の比率であり健全性を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
自己資本	11,195,913,459	11,223,929,176	11,173,111,454	11,447,347,212	11,144,430,914
負債	1,430,986,086	1,291,069,534	1,555,799,575	1,449,702,308	1,668,213,049
自己資本比率	88.7%	89.7%	87.8%	88.8%	87.0%

③ 経常収益に占める運営費交付金収益の割合＝運営費交付金収益÷経常収益×100%

(経常収益に占める運営費交付金の割合が高いほど自己収入への依存が低くてすむが、国の財政の影響を強く受ける。)

	H18	H19	H20	H21	H22
運営費交付金収益	2,569,490,664	2,547,225,304	2,532,827,312	2,480,616,356	2,488,213,330
経常収益	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933
経常収益に占める運営費交付金の割合	87.0%	84.5%	84.5%	81.9%	81.1%

(2) 効率性の指標

国立大学法人の運営が効率的に行われているかの指標。

① 業務費対人件費率＝人件費÷業務費×100%

(この比率が高いことは、教育研究活動に直接さける経費が少ないことを示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
人件費	1,895,314,652	1,993,908,784	1,955,486,439	1,799,644,781	1,958,613,151
業務費	2,682,788,894	2,684,873,992	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148
業務費対人件費率	70.6%	74.3%	71.9%	63.3%	70.1%

② 業務費対一般管理費率＝一般管理費÷業務費×100%

(一般管理費は管理業務の費用であり、この比率が高いのは非効率を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
一般管理費	196,569,960	184,785,940	195,538,123	193,677,819	180,802,171
業務費	2,682,788,894	2,684,873,992	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148
業務費対一般管理費率	7.3%	6.9%	7.2%	6.8%	6.5%

- ③自己収入対経常収益比率＝自己収入÷経常収益×100%
 (自己収入の増額を図ることは、財源の安定性と教育研究活動の質的充実に資する。)

	H18	H19	H20	H21	H22
自己収入	326,611,048	348,459,761	347,854,988	383,492,454	411,830,431
経常収益	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933
自己収入対経常収益比率	11.1%	11.6%	11.6%	12.7%	13.4%

(3) 収益性の指標

国立大学の収益源が何であり、収益を上げるための原因・対策を分析する。

- ①経常利益利率＝経常利益÷経常収益×100%
 (経常収益に対する経常利益の比率で、事業の収益性を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
経常利益	73,717,996	142,712,415	80,919,122	△ 8,742,822	89,637,980
経常収益	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933
経常利益比率	2.5%	4.7%	2.7%	-0.3%	2.9%

- ②外部資金比率＝(受託研究収益＋受託事業収益＋寄附金収益)÷経常収益×100%
 (外部から獲得した資金の比率であり、資金獲得活動の巧拙及び発展性を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
受託研究収益	10,552,366	4,707,119	9,164,169	7,133,561	3,307,815
受託事業収益	270,600	16,760,134	15,290,977	14,162,460	650,000
寄附金収益	32,348,683	36,380,498	31,986,885	24,178,205	20,758,665
経常収益	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933
外部資金比率	1.5%	1.9%	1.9%	1.5%	0.8%

(4) 活動性の指標

教育、研究及び管理が適正な基準でなされているか。

- ①業務費対研究経費比率＝研究経費÷業務費×100%
 (業務費に占める研究経費の割合、研究の比重を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
研究経費	190,229,277	263,349,501	253,137,073	235,123,001	227,248,545
業務費	2,682,788,894	2,684,873,992	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148
業務費対研究経費比率	7.1%	9.8%	9.3%	8.3%	8.1%

- ②業務費対教育経費比率＝教育経費÷業務費×100%
 (業務費に占める教育経費の割合、教育の比重を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
教育経費	470,026,869	308,861,361	393,896,282	642,390,799	484,255,511
業務費	2,682,788,894	2,684,873,992	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148
業務費対教育経費比率	17.5%	11.5%	14.5%	22.6%	17.3%

- ③学生あたり教育経費＝教育経費÷学生数×100%

千円／1人あたり

	H18	H19	H20	H21	H22
教育経費	470,026,869	308,861,361	393,896,282	642,390,799	484,255,511
学生数	293	284	278	355	380
学生あたり教育経費	1,604	1,088	1,417	1,810	1,274

④教員あたり研究経費＝研究経費÷教員数×100%

千円／1人あたり

	H18	H19	H20	H21	H22
研究経費	190,229,277	263,349,501	253,137,073	235,123,001	227,248,545
教員数	115	113	114	112	113
教員あたり研究経費	1,654	2,331	2,221	2,099	2,011

⑤診療経費比率＝診療経費÷附属診療所収益×100%

(附属診療所収益に対する診療経費の比率で、収益性・効率性を示す。)

	H18	H19	H20	H21	H22
診療経費	86,760,366	85,259,214	81,690,776	88,131,022	93,219,672
附属診療所収益	103,729,303	103,730,293	104,753,778	109,488,451	108,988,781
診療経費比率	83.6%	82.2%	78.0%	80.5%	85.5%

⑥附属病院収入対長期借入金返済比率＝(長期借入金返済＋財務経営センター納付金)÷附属診療所収益×100%

(附属診療所収益に対する長期借入金返済の比率で、健全性を判断する指標。)

	H18	H19	H20	H21	H22
長期借入金返済	7,966,386	7,966,386	1,077,500	1,077,500	1,077,500
附属診療所収益	103,729,303	103,730,293	104,753,778	109,488,451	108,988,781
附属病院収入対長期借入金返済比率	7.7%	7.7%	1.0%	1.0%	1.0%

(5)発展性の指標

財務的に収益性を高めて財務体質を強化しているか。

①経常収益の伸び率＝(当年度経常収益高－前年度経常収益高)÷前年度経常収益高×100%

(経常収益の伸び率の視点から発展性。)

	H18	H19	H20	H21	H22
当年度経常収益高	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933
前年度経常収益高	2,591,283,238	2,954,922,098	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079
経常収益の伸び率	14.0%	2.0%	-0.5%	1.1%	1.2%

②経常利益伸び率＝(当年度経常利益－前年度経常利益)÷前年度経常利益×100%

(経常利益の伸び率の視点から。)

	H18	H19	H20	H21	H22
当年度経常利益	73,717,996	142,712,415	80,919,122	△ 8,742,822	89,637,980
前年度経常利益	43,262,475	73,717,996	142,712,415	80,919,122	△ 8,742,822
経常利益伸び率	70.4%	93.6%	-43.3%	-110.8%	1125.3%